

# R&D

第23回

# イノベーション フォーラム

「R&D」×「生産性」

～未来を見据えた生産性向上へのチャレンジ～

開催日

2019 **5.24** 金

時間

9:45～19:00 (受付 9:15～)

会場

東京コンファレンスセンター・品川

主催・株式会社日本能率協会コンサルティング(JMAC)

FORUM

23rd

INNOVATION R&D

基調講演

# ニューロマネジメントから導くイノベーションに挑戦させる人づくりと組織づくりの変革

スリーエム ジャパン株式会社 執行役員 大久保孝俊氏

35年間のグローバル3Mでの新技術・新製品の開発業務とイノベーション人材の開発の実践経験に加えて、自ら検証した「人を動かすマネジメントに役に立つ脳科学」の知識を駆使して、「イノベーションに挑戦させる人づくりと組織づくり」の設計図が、ニューロマネジメント【脳科学×マネジメント】から体系化できることを解説します。これは、変わる経済環境下でのケーススタディーではなく、変わらない人間の本质から導くサイエンスであるので、多種多様であり技術革新の

スピードが速い職場環境においても、イノベーションの挑戦の再活性化を引き出す基盤になると確信しています。講演では次の3点についてお話しします。

- ①「アメとムチ」に基づくマネジメントではなく、「MUSTからWANTへの変換」を引き出すマネジメント
- ②イノベーションの挑戦に対するポジティブな感情とネガティブな感情のマネジメント
- ③人間の本质から導く「やる気」の設計、「ひらめき」の設計、「自主性」の設計



おおくぼ・たかし スリーエム ジャパン株式会社 執行役員  
コーポレート・プロセス・イノベーションおよび品質保証担当  
1983年3月、住友スリーエム株式会社(現スリーエム ジャパン)に入社  
2005年6月、米3M社コーポレトリサーチ研究所 首席技術部長  
2007年6月、スリーエム ジャパン株式会社 執行役員 技術担当  
2009年8月、スリーエム ジャパン株式会社 チーフ・プロセス・オフィサー  
2016年8月から現職 東京工業大学・早稲田大学ビジネススクールにて非常勤講師を担当



大久保孝俊著  
『3Mで学んだニューロマネジメント』  
日経BP社  
2017年9月発行

## SESSION A

Aセッション

### 研究・開発成果を事業成果に変える

#### 研究・開発成果の事業化を加速する ～社内技術の見える化と技術カタログづくり～

株式会社日本能率協会コンサルティング  
チーフ・コンサルタント

山中淳一

研究開発部門には技術力強化(中長期目線での競争力強化)に加え、早期の事業成果創出(事業貢献)も強く期待されるようになってきています。本講演では、これらの期待に応えるための取り組みとして2つの活動をご紹介します。

- 社内技術の見える化：自社保有技術を抽出・整理し、その特徴や強みの理解を深める活動
- 技術カタログづくり：社内技術を社外に提示し興味をもってもらう活動

#### 技術を核に新たなビジネスを創出する MOTの実践展開

株式会社日本能率協会コンサルティング  
チーフ・コンサルタント

小田原英輝

日本能率協会コンサルティングでは、技術を核に新たなビジネスを創出するMOT(技術経営: Management of Technology)の実践を数多くの企業でご支援してきました。本講演ではその経験を踏まえて、技術を顧客価値や事業成果にまで結びつけるために必要なMOTのスキル体系や社内展開していくための実践プログラム、その際のポイントなどについて紹介します。

#### 味の素グループにおけるオープンイノベーション活動 ～クライアント・イノベーション・センターの設立～

味の素株式会社  
バイオ・ファイン研究所

次長 宮地保好氏

味の素グループでは、先端バイオ・ファイン技術とおいしさ設計技術を、ビジネスパートナーが持つ技術と融合させ、単独ではできない大きなブレイクスルーを導き出し、新しい価値の創出に取り組んでいます。その動きを加速させるため、当社初のオープンイノベーション推進拠点となる「クライアント・イノベーション・センター」を2018年6月に開設しました。本講演では、センターの機能や当社の強みをパートナー企業とリンクさせる仕掛けや工夫点・苦労点などを紹介します。

#### 事業成果創出に向けた 矢崎流MOTによる人材育成

矢崎総業株式会社  
技術開発室 リソースセンター教育評価部

リーダー 平井亮子氏

矢崎総業では、事業成果を生み出すことのできる先行提案型人材の育成をねらい、実践型MOT研修を2005年から継続して実施しています。実践的なMOTスキルを習得するために、座学だけではなく、実テーマを題材とした開発提案書の作成まで実践することを特徴としています。本講演では、350名を超える受講生を輩出している本研修について、そのねらいや内容、継続的な改善への取り組みなどを紹介します。

## 午後セッション

Bセッション

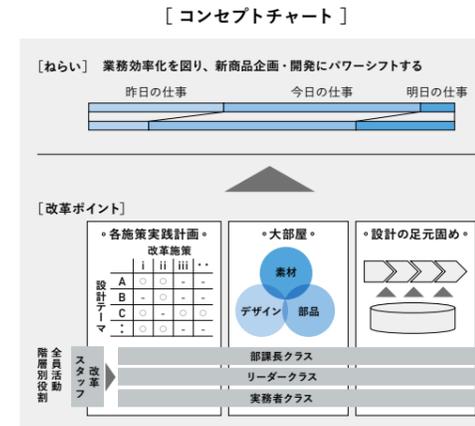
### 技術部門の業務効率化

#### 小規模多テーマ開発における 設計業務改革

グロープライド株式会社  
ロッド製造部 設計管理課

課長 大田 勲氏

グロープライドは、総合釣具メーカーとして、2018年で創業60周年を迎えました。多様化する釣り市場に対応するため、開発製品数を年々増加させてきましたが、設計現場の負荷が増大していました。そこで設計部門として、開発力強化に向けて業務効率化→技術力強化→企画力強化の3ステップで改革シナリオを描き、2016年からは設計業務効率化活動をスタートし、設計者一人ひとりが日々改革を実践しています。本講演では、改革活動の立ち上げから、全員参加型の活動にするための仕掛けや工夫点・苦労点などを紹介します。



#### グループディスカッション

- [目的・ねらい]
- 事例発表の理解を深める
  - 各企業での取り組み/困りごとの交流

#### [ディスカッションテーマ]

- 新事業/新商品企画へのリソースシフト
- 開発効率化施策
- ビジネスリーダー/プロジェクトリーダー育成
- 技術者育成
- 組織変革への対応
- 技術伝承、技術基盤強化 など

Cセッション

### 異質な知の統合で革新の壁を乗り越える

#### スピードUP時代のイノベーション生産性向上 ～革新のドラマを生み出す異質な知～

株式会社日本能率協会コンサルティング  
チーフ・コンサルタント

大崎真奈美

スピードが求められるようになったR&Dは何を変えるべきなのか。人・組織の視点で課題を俯瞰し革新のヒントを共有いたします。

#### データ駆動型材料開発の 社内普及に向けた取り組み

～サイエンスにおける「データと人の目」の融合を目指して～

コニカミノルタ株式会社 開発統括本部  
要素技術開発センター価値創造室

マネージャー  
荒井健夫氏

データ駆動型材料開発=マテリアルズ・インフォマティクス(MI)による開発プロセスのデジタルトランスフォーメーションへの取り組みは、材料に関わる企業にとって、開発期間の短縮/成功確率の向上を実現し今後のグローバルな開発競争を勝ち抜くために、避けて通れません。しかしながら、開発の現場では、依然として従来型の勤・経験+理論によるアプローチが主流で、こうした手法に対する違和感・抵抗感が強いのもまた事実です。社内の認識をどうやって変えていくのか、開発者の意識を活性化しMIを扱える人材をどう確保・育成していくか、短期・中長期的視点に立った様々な仕掛けが必要です。まだ道半ばですが、弊社における取り組みを紹介します。

#### 計算科学における情報技術活用の実際と 人材育成における課題

～R&Dの生産性を革新するデジタル技術の最先端～

日本女子大学 理学部  
数物科学科 分子物理計算研究室

准教授 村岡 梓氏

私が身をおく「計算・理論科学」は、最適な近似に基づく数値解法を実行することで、自然の現象や法則性を定量的に理解し予測をする分野です。この数値的解法の実行には、アルゴリズムと電子計算機が必要不可欠です。最近スパコンによる超高速・大規模計算が話題になりました。本講演は、本分野の研究開発における情報技術の必要性や人材育成の観点から現状と課題を提供します。

#### 小規模チームで多様な仕事に立ち向かう！ ～ある新任課長の組織変革チャレンジ～

三菱商事ライフサイエンス株式会社  
戦略企画部

マネージャー  
宮垣太郎氏

三菱商事ライフサイエンスは、3社の統合によって2019年4月に生まれました。会社統合、組織改編、人材ローテーションなど社内外の環境変化の中、生産技術センターでは従来型の製造支援テーマのみならず、他部門との協業や新領域テーマにも足を踏み出すため、新たな体制づくりにチャレンジしました。メンバー間のコミュニケーション強化や成果の見える化など、具体的な取り組み事例を紹介します。

#### パネルディスカッション

- [目的・ねらい]
- R&Dの人・組織の課題について、いくつかの質問に対し来場者の皆さまのご意見と講演者の考えを相互交流します。

#### [ディスカッションテーマ]

- 「今後のR&Dの人・組織における課題」(予定)
- 個性の異質性と同質性のバランス、短所の改善と長所の成長、技術者の「夢」について、管理職はどこまでメンバーの仕事に介入したらよいか、どこまでノウハウを形式化できるかなど、デジタル化や働き方改革、世代ギャップ等を背景に、これから重要となるテーマを皆さまと考えていきます。

## SESSION C

## プログラム

09:45～10:00 開催にあたり

10:00～12:30 基調講演 ニューロマネジメントから導くイノベーションに挑戦させる人づくりと組織づくりの変革  
スリーエム ジャパン株式会社 大久保孝俊氏

### 昼食

#### SESSION



13:30～17:00 研究・開発成果を事業成果に変える

|             | [タイトル]   | [講演者]          |
|-------------|--|----------------|
| 13:30～13:50 | 1 研究開発成果の事業化を加速する<br>～社内技術の見える化と技術カタログづくり～             | JMAC 山中淳一      |
| 13:50～14:40 | 2 味の素グループにおけるオープンイノベーション活動<br>～クライアント・イノベーション・センターの設立～ | 味の素株式会社 宮地保好氏  |
| 14:40～15:00 | 質疑応答   |                |
| 休憩(15分)     |  |                |
| 15:15～15:35 | 3 技術を核に新たなビジネスを創出するMOTの実践展開                            | JMAC 小田原英輝     |
| 15:35～16:25 | 4 事業成果創出に向けた矢崎流MOTによる人材育成                              | 矢崎総業株式会社 平井亮子氏 |
| 16:25～16:45 | 質疑応答   |                |
| 16:45～17:00 | JMAC総括、事業成果創出へ向けた意見交換                                  | JMAC 山中淳一      |

#### SESSION



13:30～17:00 技術部門の業務効率化

|             |                     |                  |
|-------------|---------------------|------------------|
| 13:30～13:40 | 技術部門の業務効率化          | JMAC 渡部訓久        |
| 13:40～14:55 | 小規模多テーマ開発における設計業務改革 | グロープライド株式会社 大田勲氏 |
| 休憩(15分)     |                     |                  |
| 15:10～15:15 | グループディスカッション ガイダンス  | JMAC 渡部訓久        |
| 15:15～16:30 | グループディスカッション        |                  |
| 16:30～17:00 | 共有およびQ&A            |                  |

#### SESSION



13:30～17:00 異質な知の統合で革新の壁を乗り越える

|             |  |                                 |
|-------------|--|---------------------------------|
| 13:30～14:00 | 1 スピードUP時代のイノベーション生産性向上<br>～革新のドラマを生み出す異質な知～               | JMAC 大崎真奈美                      |
| 14:00～14:50 | 2 計算科学における情報技術活用の実際と人材育成における課題<br>～R&Dの生産性を革新するデジタル技術の最先端～ | 日本女子大学 村岡梓氏                     |
| 休憩(15分)     |  |                                 |
| 15:05～15:35 | 3 データ駆動型材料開発の社内普及に向けた取り組み<br>～サイエンスにおける“データと人の目”の融合を目指して～  | コニカミノルタ株式会社 荒井健夫氏               |
| 15:35～16:05 | 4 小規模チームで多様な仕事に立ち向かう！<br>～ある新任課長の組織変革チャレンジ～                | 三菱商事ライフサイエンス株式会社 宮垣太郎氏          |
| 16:05～16:45 | 5 [相互交流セッション]  | 村岡梓氏 荒井健夫氏 宮垣太郎氏<br>JMACコンサルタント |
| 16:45～17:00 | 6 まとめ  | JMAC 大崎真奈美                      |

17:15～19:00 参加者交流会

お申し込みURL [https://dlabo.jmac.co.jp/rd\\_innovation\\_forum\\_2019](https://dlabo.jmac.co.jp/rd_innovation_forum_2019)

参加料(消費税込) 35,100円(資料・書籍・昼食・交流会参加費用を含みます) 定員 300名(お申し込み順)

開催日 2019.5.24(金) 時間 9:45～19:00(受付9:15～)

問い合わせ先 株式会社日本能率協会コンサルティング 第23回 R&Dイノベーションフォーラム事務局  
TEL:03-4531-4307 E-mail:seminar1\_jmac@jmac.co.jp

